

平成 14 年度漁協の共済推進・表彰大会開催



共水連・漁済連主催、漁協推進センター後援の「平成 14 年度漁協共済推進・表彰大会」がさる 7 月 4 日（木）東京台場・ホテル日航東京で全国の漁協関係者ら約 500 名が参加して、盛大に開催されました。

まず主催者を代表して、共水連の佐々木護代表理事会長、漁済連の船本幸作会長理事が挨拶し、続いて武部勤農林水産大臣、全漁連の植村正治代表理事会長がそれぞれ祝辞を述べました。

続いて木下寛之水産庁長官ら来賓の紹介のあと、優績漁協・漁業者の表彰が行われ、農林水産大臣賞、水産庁長官賞、全漁連会長賞、共水連会長特別表彰、共水連会長賞、漁済連会長賞として、256 組合、99 名の方々の表彰が行われました。

締めくくりは、参加者の総意として鹿児島県 JF 種子島の宇辰政俊組合長朗読により、下記の「漁協の共済」の確立・推進への決議が満場一致で採択・決定されました。その後、テレビや雑誌などで活躍されている吉本興業（株）常務代表取締役の木村正雄氏による特別講演が行われました。

「漁協共済」の確立・推進への決議

われわれ漁業協同組合は、いま、力強い組織に脱皮するため 21 世紀を切り拓く組織・事業・経営改革に総力を挙げて取り組んでいる。そのなかにあつて、共済事業は、とり

わけ漁業者の暮らしと経営をまもる不可欠の事業として、その確立が急務となっている。

このうち、漁業者の暮らしを守る「JF共済」については、共済自立漁協の構築を主要課題に新たに策定された「RESTART-JF共済3か年計画」の初年度にあたり、われわれ漁業協同組合は事業実施体制の強化をはかりつつ、推進本部・共水連との緊密な連携のもと、計画に掲げた諸課題と取り組むとともに、その実践運動として、「めざせ！共済自立化運動」を足並み揃えて全国に展開し、所期の目標達成を期さなければならない。

また、漁業者の経営を守る「ぎょさい」については、「守るぞ経営『ぎょさい』新時代」を合言葉にスタートした「新ぎょさい総加入運動21」の初年度であり、また漁業者が一層加入しやすい新制度の開始年にあたり、われわれ漁業協同組合は「ぎょさい」が漁業経営の大きな支えとして果たしてきた役割とその重要性を改めて認識し、漁業共済団体と共に、漁業の担い手となる漁業者全員の加入と補償力の向上をめざした取り組みを進めなければならない。

われわれ漁業協同組合は、漁業者に真に役立つ「漁協共済」の確立のため、たゆまぬ努力をもって前進することを誓い合い、ここに大会の総意として決議する。

平成14年7月4日

平成14年度漁協共済推進・表彰大会